

## 本陣四季彩々 春の段「雑宮の郷」

ただ今、四季彩々開催中の本陣では、雛人形の他、3月8日(金)から、春を感じられる掛軸の展示を行います。歴史薫る本陣で春の息吹を感じてみませんか？

🕒 3月24日(日)まで 所 史跡草津宿本陣 入館料要  
問 史跡草津宿本陣(草津一) ☎・FAX561-6636



# 歴史ギャラリー

## ドジョウフミ—宿場町から見つかった漁具—

No.196

草津宿街道交流館の所蔵資料には、市民の皆さんから寄贈を受けた資料が多くあります。寄贈資料の中には「中神コレクシヨン」や「うばがもちやコレクシヨン」、「山口コレクシヨン」のような個人で収集されたコレクシヨン群の他に、古文書や生活用具などのさまざまな資料があり、草津市の歴史や私たちの暮らしを知る重要な手がかりとなっています。

今回は寄贈された資料の中から、漁に関する民具を紹介します。長い楕円形の大きなザルに丸竹の取っ手をつけた漁具は「ドジョウフミ」や「ドンジョフミ」、「ドジョウカキ」などと呼ばれるもので、かつては県内各地で使われていました。使い方は簡単で、川や水路の中で足踏みして、隠れていたドジョウなどの魚をザルの中に追い込んで、ザルをすくい上げて捕まえます。

かつて、琵琶湖周辺の川や池には豊富に魚がおり、このような簡易な道具で捕まえることができたそうです。寄贈を受けた2点のドジョウフミはいずれも大きさが1mほどあり、竹を編んで作られています。

す。竹の色や縁の部分の仕上げ方が異なっていることから、作られた年代や場所、人物が異なる可能性が考えられます。この漁具はかつての草津宿だった地域に住んでいる方から寄贈を受けたものですが、その伝来などの詳細は分かっています。しかし、ドジョウフミが川や水路で使われる漁具であることや、県内の内陸地域でも使われていたことを踏まえると、草津宿にドジョウフミがあることは決して不可解なことではないといえます。



▲ドジョウフミ(草津市蔵)

草津宿街道交流館では、市民の皆さんから寄贈を受けた資料を展示する「郷土を伝えるもの—寄贈資料展—」を3月23日(土)〜5月26日(日)に開催予定です。こちらの資料も展示していますので、ぜひお越しください。

草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

### Kusatsu Information

#### いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)

#### 市公式ソーシャルメディア



#### 草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス



#### くさつチャンネル

さまざまな動画や、びわ湖放送(BBC)で放送されている草津スケッチもこちらから配信！



市の花  
アオバナ



市の木  
キンモクセイ

1月31日現在(対前月比)

- 人口139,913人(-26)
- 世帯数63,942世帯(-20)
- 男70,205人(-25)
- 女69,708人(-1)

国スポ開催まであと

576日

わたSHIGA輝く  
国スポ・障スポ2025

障スポ開催まであと

603日



開催まで  
カウント  
ダウン!

3月1日(金)時点